



創造

ようやく実現できた授業参観。子どもたちの学校での様子はいかがだったでしょうか。本校では、昨年度の教育評価の結果【課題】を踏まえ、今年度コロナ禍にある状況を鑑みて、【対策】を考え、ホームページによる情報発信等に努めてきました。（下記参照）今号では、11月に保護者の皆様に依頼したアンケートの結果を紹介します。

【課題】

- ① 学校や学級で通信を作成しているが、保護者に情報があまり伝わっていない。
- ② 保護者と児童間での家庭でのコミュニケーションが十分とれていない。

【対策】

- ① 連絡事項は時間割に記載する。活動概要は学校のホームページに掲載し、随時掲載する。
- ② 学校での出来事を毎日、児童が保護者に伝えることを宿題の一つにする。

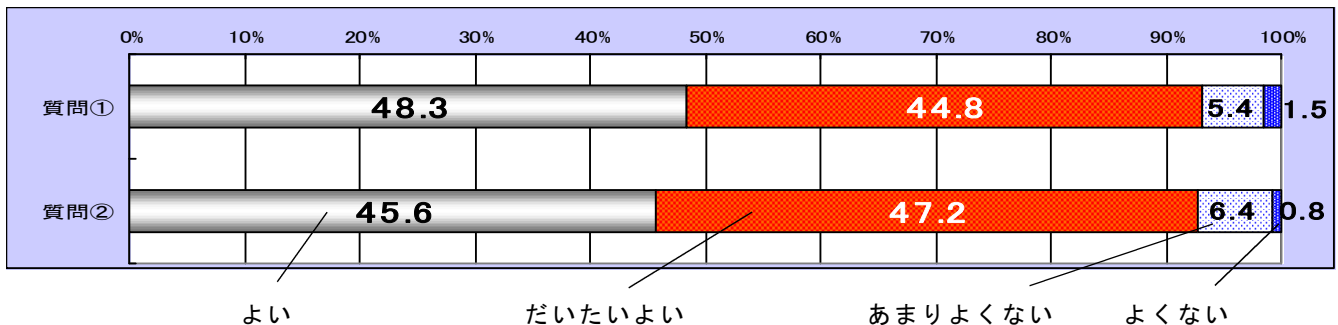
【得られる効果】

- ① 時間対効果のアップ
- ② 児童の思考力・表現力の育成
- ② 親子対話の機会の提供

令和2年11月末調査〔回答率 98.1%〕

【質問①】 学校は、ホームページ等で学校の様子をわかりやすく伝えていますか？ (%)

【質問②】 子どもとのコミュニケーションが十分とれていますか？ (%)



○ 保護者の皆様の声から

- ・学級通信がなくなったのは個人的には寂しいですが、学校だよりやホームページで学校の様子がよくわかるのでいつも楽しみにしています。（2年保護者）
- ・定期的にHPが更新されていて、わずかながら学校の様子がうかがえてよい。（3年保護者）
- ・学校生活の様子もあまり話してくれない年頃になったので、学校からの便りがとても楽しみです。（4年保護者）
- ・毎日更新されるHPは、学校のこと、子どもたちのことがよくわかり、学校をすごく身近に感じます。子どもと一緒に見て、子どもが前よりも学校のことを話してくれるようになりました。（5年保護者）
- ・今年度から学級通信が発行されなくなり、学級の様子等が全く分からない。（5年保護者）

課題だった「学校からの情報発信」「親子のコミュニケーション」に関する内容は、前年度より改善の傾向にあります。最高評価の「よい」と回答された保護者の割合も約半数を占めていました。4月8日時点でのHPのカウント数は、55,660でしたが、12月23日現在 100,408になりました。皆様からの温かい言葉を励みに、今後も毎日の更新に努めるとともに、内容を一層充実させ、家庭での会話につながるような情報を発信していきたいと思えます。

「芦北町立佐敷小学校ホームページ」で検索ください。



TT担当の思い



TT(チームティーチング)とは、複数で指導することで、より分かる授業・手厚い個別指導をめざす指導形態のことです。

特別支援学級のTTを担当しています。特別支援学級では、児童の実態や教育効果を考慮し、国語と算数の授業は在籍する学級で、その他の教科は交流学級で授業を受けています。担当するなかよし3, 4組には異学年の児童が在籍しており、国語や算数の授業では、しばしば複式授業となることがあり、学級担任だけでは個々の児童の個性や学習にきめ細かに対応していくことが困難な状況が発生します。このような課題を改善するために、国語や算数の時間は学級担任と一緒に複数体制で授業を進めています。授業形態は、担任が主となって全体の授業を進め、TT担当が机間指導を行いながら一人一人の学びをサポートする形態をとっています。指導形態や教材等を工夫し、試行錯誤を重ねながらの毎日ですが、「子どもたちが達成感を味わってくれたら・・・」という思いで取り組んでいます。今後も、少人数学級における複数体制での指導という特性を生かし、児童一人一人の個別目標の達成に向け、学級担任と連携協力しながら努めていきたいと思ひます。

特別支援学級担当 山口 博志



山口教諭



伊藤教諭

2年生・3年生・6年生の算数TTを担当しています。小学校では、どの学年も毎日必ず1時間算数の授業があります。それだけに、大事な授業の一つを任されていることへの責任とやりがいを感じながら授業をしています。また、算数はどちらかと言えば、苦手な教科・嫌いな教科になりがちです。(昨年度のアンケート結果では、佐敷小の37%の子どもが算数を嫌いだと答えています)。そういった実態を念頭に置きながら、「わかる・できる授業」を目標に、担任の先生と日々協力しながら授業を進めています。算数を教えていて一番うれしいのは、子どもたちから「わかった。」「できた。」という声が聞かれることです。また、算数の問題に真剣に取り組む子どもたちの姿が見られた時も、わたしたち(教師)にとってはうれしい瞬間です。今年度は、コロナ感染症・豪雨災害と厳しい事態に見舞われ、現在も変わらぬ状況が続いています。これからの時代は、いつ何が起きるか予測が困難な予測不能時代になると言われています。今を、そしてこれからの時代を逞しく乗り越えていけるよう、子どもたちの学習する力(=生きる力)を伸ばすために、これからも頑張っていきたいと思ひます。

算数TT担当 伊藤 卓哉

年末・年始も感染症対策や事故防止対策等、命を守る行動を引き続きよろしくお願ひします。